

リニューアルオープンいたします。本町の大事な資源・財産として、また、地域活性化の起爆剤として永続的な運営を期待し支援してまいります。

地域おこし協力隊については、本年度、2名の採用を予定しています。初年度は、勝山温泉ゆゆを核とした置戸町の観光振興と、勝山地区のみ

なさんとともに地域の活性化に取り組んでいただきます。

本年50回を迎えるおけと夏まつりは、実行委員会を中心に記念事業の検討を進めています。町民みなさんの記憶に残るイベントとなるよう支援してまいります。

安心して健やかに暮らせるまちづくり

高 齢者等住宅改修費助成事業、緊急通報システム事業、安心カードの設置などにより、地域での見守り、助け合い等のネットワーク構築に努め、安心して在宅生活を継続できるよう支援いたします。

へき地患者輸送車は、各地区からの通院を主な目的として運行しています。高齢などの理由から車両の乗降にご苦労されている方、さらには置戸市街地区の遠距離地域の方へも対象を広げるため、小型車両を導入し利便性の向上を図ってまいります。

地域密着型サービスとして運営されている認知症対応型共同生活介護施設及び通所介護事業所に対して、運営費の補助を行うとともに、利用者及び低所得者の負担軽減を図り、高齢者を支援する事業所の利用促進と安定的な運営を支援いたします。

障がい者活動拠点施設の管理運営と、福祉的就労・作業訓練及び地域サロン活動などを実施するNPO法人に対して、引き続き支援いたします。

子育て世代への支援と本町で成長したことの証として、「18歳の春旅立ち応援事業」を本年度から開始いたします。次代を担う子どもたちの18歳到達のお祝いと、進学や就職に係る経済的負担軽減を図り子育て支援を推進いたします。

母子保健事業では、本年度から不妊治療費を助成することにより、出産を希望する夫婦の経済的、精神的負担を軽減し、少子化対策を推進いたします。

歯・口腔の健康づくりは、乳幼児期からのケアが重要となります。ブラッシング指導を基本とし、虫歯予防に効果的なフッ素・サホライド塗布及びフッ化物洗口を実施し、歯・口腔の健康づくりを推進いたします。

生活習慣病に起因する疾病から町民の健康を守るため、特定健康診査及びがん検診の受診率向上を図るとともに、生活習慣病に着目した生活指導や特定保健指導を推進いたします。



いきいきライフフェスティバルの様子（平成28年10月）

地域医療の充実や質の高い医療の提供のため、置戸赤十字病院に対し、医療機器更新などへの財政支援を継続いたします。

老人ホームの指定管理者であります置戸町社会福祉協議会と連携を密にし、利用者の利便性の向上と安定した運営が図られるよう引き続き支援するとともに、改築への協議を継続いたします。

特別会計

国民健康保険については、平成30年度から都道府県単位化となり、財政安定化が図られる反面、加入者の負担増加が懸念されます。特定健診の未受診者対策事業を実施することで、医療費の抑制と保険税の縮減に努めてまいります。

後期高齢者医療制度については、高齢化率の上昇とともに医療費の増加傾向が続いています。今後も、団塊の世代の加入により給付の増加が予想されますので、健診事業の推進により病気の重篤化防止、医療費の抑制に努めてまいります。

介護保険制度については、第6期介護保険事業